

『時事直言』 No.1418 国会議員号 2020年9月9日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](#)

[instagram] [t_masuda2019/](#)

[mail] info@chokugen.com

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](#)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

安倍総理辞任の真相！

自民党次期総裁の3人の候補、菅義偉、岸田文雄、石破茂の告示並びに共同記者会見が昨日あった。

岸田文雄は由緒ある宏池会を率いるプリンスの顔があり、石破茂は自民党保守本流から外れた野人の顔がある。

菅義偉は無派閥、忠実でブレない実務家だがこれといった色も顔もない。

安倍晋三は吉田・保守本流のサラブレッド中のサラブレッドで自主防衛の為の憲法第9条改正に政治生命をかけている有言実行型政治家だ。

安倍は憲法解釈で集団的自衛権の合憲化と敵地攻撃に道を開いたが、憲法改正で正式に自衛隊を軍隊にしないで国会議事堂前に安倍晋三の銅像は建たない。

安倍は道半ばにして、たかが持病の如きで信念、いや執念を断念する男ではない。

安倍晋三を最もよく理解し、支えてきたのは菅義偉(官房長官)、麻生太郎(財務大臣、副総理)と二階俊博(幹事長)である。

森友、加計学園、桜を見る会等々の問題は「安倍一強」という名の官邸主導、トップダウン型政治の「あだ花」と言ってもいいのではないか。

「船頭多くして船山に登る」の「口先だけの民主主義」が通用しなくなり世界の強国アメリカにはトランプ、中国には習近平、ロシアにはプーチンが権力の座に着くワンマン政治の時代に「安倍一強」は当然の成り行きである。

岸田は政治的直観力に欠けるので総理の資格はない。

石破はものの考え方がひねくれているそれが顔に現れる上に何事も自分でやらねば気がすまない性格だから人の上には立てない。

菅は色もなく顔もない派閥もないただ忠実な実務家で、誰かに従うタイプだから総理の器ではない。

日本には安倍晋三以外にトランプ、習近平、プーチンと渡り合える「器」はない！

二階が「安倍さん、お疲れの様だから少しお休みになってはいかがですか」と言った(進言した)のは「来年10月20日(任期終了衆院選)までの1年間で体調を完璧にして下さい」という事、すなわち来年10月総選挙で第三次安倍内閣再開という事である。

それまで安倍政治を忠実に継承出来るのは色も顔もない、派閥の拘束もない菅をおいて他にない。

これが阿吽(あうん)か密約かは分からないが、「安倍、麻生、二階そして菅の思う壺」であることに変わりはない。

増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

現在、増田俊男の「ここ一番！」をFAX又はe-mailにて配信しております。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S.リサーチジャパン(株)Tel: 03-3956-8888、HP: www.chokugen.com まで。

【最近の配信履歴】

- 09月09日(水) No. 999 利益確定延期
- 09月08日(火) No. 998 利益確定はSQ前の明日
- 09月04日(金) No. 997 NY株価中暴落！
- 09月03日(木) No. 996 短命「菅相場」

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。